

職員による自己評価

A環境面
 スペースが広く、満足している。
 トイレに段差がある。

B適切な支援の提供
 以前よりも話し合う機会がもたれるようになった。

C関係機関との連携
 放課後児童クラブや児童館との交流はない。
 コロナの影響で協議会等事態の開催が少なくなっている。

D保護者への説明責任・信頼関係
 活動内容を事業所のブログで毎日公表している。

E非常対応
 年2回の計画だが災害を想定し、児童全員が避難訓練に参加できる様に実施している。

保護者による評価

A環境面
 新しいいどがやのスペースはとても広く、十分に確保されていると思います。

B適切な支援の提供
 活動プログラムが増えている。
 他の児童クラブや児童館との交流の機会はないが、望んでいないのでこのままで良い。
 程よい活動量で楽しんでいるので本当に助かっている。

C事業所からの情報発信
 事業所の活動内容がブログで拝見できる。
 保護者会等の開催がない。ただ、両親とも仕事しているケースが多いので保護者会等の参加は難しい。

D非常時等の対応
 事前に情報を貰い、送迎時やブログで実施報告を受ける。

事業所内での分析

【共通点】

- ・7月より新しくなったいどがやの広いスペースには、利用者さま・従業員ともに満足している。
- ・他の放課後児童クラブや児童館との交流はない。
- ・事業所の活動内容は、ブログで毎日公表されており、保護者様も閲覧することができる。

【相違点】

- ・コロナの影響等もあり、外部（協議会の参加や他の児童クラブ・児童館等との交流は現在行われてはいないが、情勢を見て少しずつ再開できるものは再開していく。

分析・検討してみて…

事業所の強み

送迎時でも活動内容をお伝えしているが、より様子を拝見して頂く為にブログでの報告をおこなっている。

新しくなった広いスペースを活かし、今までになかった活動（ダンス教室や保護者様参加型のイベント）を増やし、利用者様の満足いく内容にしていく。

事業所の改善点

教室も広くなり、また複数の部屋に分かれているので、児童の成長と共に、事業所の内のレイアウトを検討しより良い環境を提供していく。

玩具も新しい物を少しずつ購入して児童が楽しめる様に提供していく。

事業所の改善への取り組み

協議会の参加や、地域放課後クラブ・児童館等との交流。

現在使用している家具（椅子・机・棚等）の検討。

親子で参加できるイベント企画や保護者様と共有できる保護者会を検討。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

7月にリニューアルオープンを行い、広いスペースの確保・保護者様参加型のイベントの開催等今までにないライズいどがやが出来てきております。より一層の内容の充実を図って行くとともに、子どもたちの将来にとって少しでも多くの有益になる経験・体験をしていただけるよう取り組んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

事業所名 ライズ児童デイサービスいどがや

担当者 仲田 大二郎